

## コンビナート港湾における地震・津波対策検討会議（第1回）

日 時：平成24年5月30日（水）13:00～15:00

場 所：中央合同庁舎3号館 4階特別会議室

国土交通省港湾局、原子力安全・保安院、消防庁からの地震・津波対策の検討状況の報告、今後の進め方についての事務局説明の後、質疑応答が行われた。主なご意見は以下のとおり。

- コンビナートで働く者の安全の確保、安全なプラントの操業を図るため、コンビナート全体としての安全性について検討してほしい
- 関東地方整備局で行われた護岸及び石油タンクの被害に関するシミュレーションの前提条件や検討結果に誤りがあることについて速やかに公表するとともに十分な検証を行うべき
- 関東地方整備局が行った検討内容について検証を進めるとともに、防災への過大な投資を避けるため、個別に対策を講じるだけでなく、コンビナート全体として捉え、どこで対策を講じるべきかを検証すべき
- 各事業所で地震・津波対策を講じるにあたり、国において取り得る支援策について検討してほしい
- 港湾では、津波に対して防波堤を粘り強い構造とすることで浸水深を抑える対策や、液状化に関する技術的な検証が考えられるが、更なる対策については今後検討が必要
- 入出荷設備等の復旧を早急に進めるには重機等が必要であることから、液状化等で被害を受けた道路の早期復旧が重要
- 各省庁が所管する個々の対策はしっかり行われていると思うが、コンビナート全体としてのリスク管理についても検証すべき
- 公がリーダーシップを取り、コンビナート全体を強靱化していくことが必要

次回（第2回）は、関係行政機関、関係団体より地震・津波対策の実施状況や課題について報告頂くとともに、地震・津波時にコンビナート港湾で起こり得る課題と各省庁における対策の実施・検討状況について整理を行うこととなった。

以上